

抗がん薬名		投与量	投与方法	投与日			
レジメン名	FOLFOX			投与間隔	14	催吐リスク	中等度
	レボホリナート	200mg/m2	点滴静注	day1			
	オキサリプラチン	85mg/m2	点滴静注	day1			
	5-フルオロウラシル	400mg/m2	点滴静注	day1			
	5-フルオロウラシル	2400mg/m2	点滴静注	day1			
備考 レボホリナートとオキサリプラチンは同時投与。							
レジメン名	Nivo(480)+FP			投与間隔	28	催吐リスク	高度
	ニボルマブ	480mg/body	点滴静注	day1			
	シスプラチン	80mg/m2	点滴静注	day1			
	5-フルオロウラシル	800mg/m2	点滴静注	day1,2,3,4,5			
備考							
レジメン名	Nivo+Ipi併用			投与間隔	41	催吐リスク	最小度
	ニボルマブ	360mg/body	点滴静注	day1,22			
	イピリムマブ	1mg/kg	点滴静注	day1			
備考							
レジメン名	RT-FOLFOX			投与間隔	14	催吐リスク	中等度
	レボホリナート	200mg/m2	点滴静注	day1			
	オキサリプラチン	85mg/m2	点滴静注	day1			
	5-フルオロウラシル	400mg/m2	点滴静注	day1			
	5-フルオロウラシル	1600mg/m2	点滴静注	day1			
備考 レボホリナートとオキサリプラチンは同時投与。制吐剤としてday2-3にデキサメタゾン8mg/day内服を追加する。放射線照射は1日1回照射。平日5日間 x5週間の予定であり、その間FOLFOXが2週間ごとに3コース併用される。放射線治療終了後はFOLFOXを2週間毎に3コース追加する。							

免責事項: 本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日			
レジメン名 RT-FP【CDDP75/5-FU1000】			投与間隔	28	催吐リスク	高度
シスプラチン	75mg/m2	点滴静注	day1			
5-フルオロウラシル	1000mg/m2	点滴静注	day1,2,3,4			
備考 ・放射線併用:1.8Gyx28fr ・基本的にstageⅡ/Ⅲの初回治療に適用(JCOG0909、食道癌診療GL2022より)。状況によって、stageⅠに使用する場合もあり。						
レジメン名 キイトルーダ+FP			投与間隔	21	催吐リスク	高度
ペムブロリズマブ	200mg/body	点滴静注	day1			
シスプラチン	80mg/m2	点滴静注	day1			
5-フルオロウラシル	800mg/m2	点滴静注	day1,2,3,4,5			
備考						
レジメン名 テビムブラ+FP			投与間隔	21	催吐リスク	高度
チスレリズマブ	200mg/body	点滴静注	day1			
シスプラチン	80mg/m2	点滴静注	day1			
5-フルオロウラシル	800mg/m2	点滴静注	day1,2,3,4,5			
備考 ・0.2-0.22 μ mのインラインフィルターを使用し投与 ・投与時間は、初回60分、忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで短縮可能						
レジメン名 テビムブラ単剤			投与間隔	21	催吐リスク	最小度
チスレリズマブ	200mg/body	点滴静注	day1			
備考 ・0.2-0.22 μ mのインラインフィルターを使用し投与 ・投与時間は、初回60分、忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで短縮可能						

免責事項:本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名		投与量	投与方法	投与日			
レジメン名	術前	DCF		投与間隔	21	催吐リスク	高度
		ドセタキセル	70mg/m2	点滴静注	day1		
		シスプラチン	70mg/m2	点滴静注	day1		
		5-フルオロウラシル	750mg/m2	点滴静注	day1,2,3,4,5		
備考							